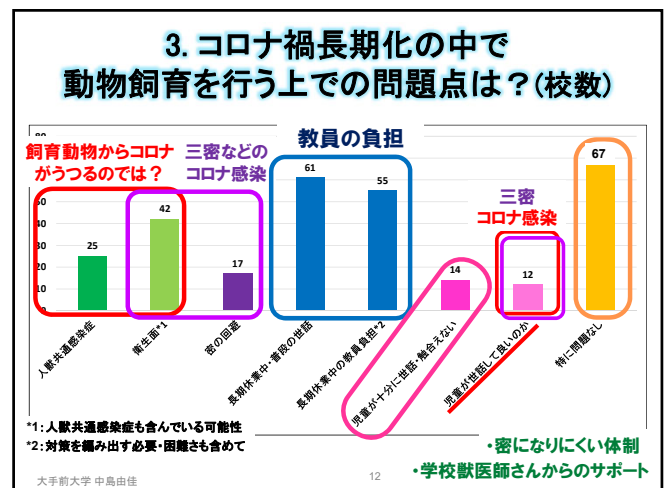
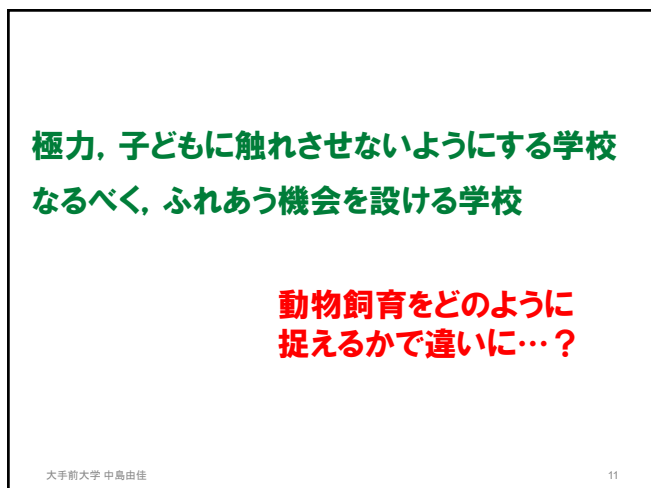
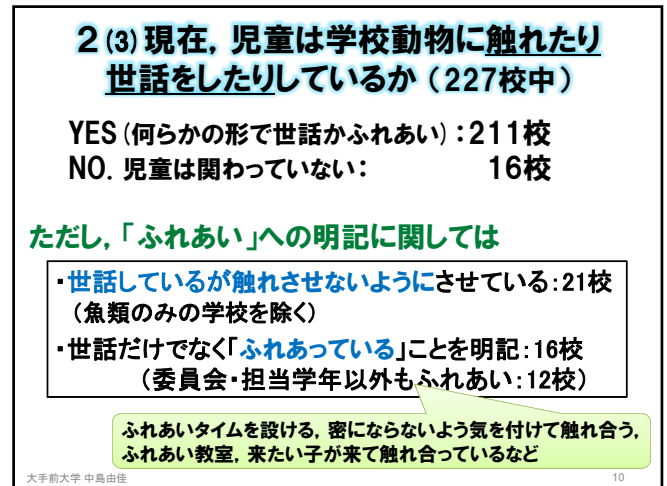
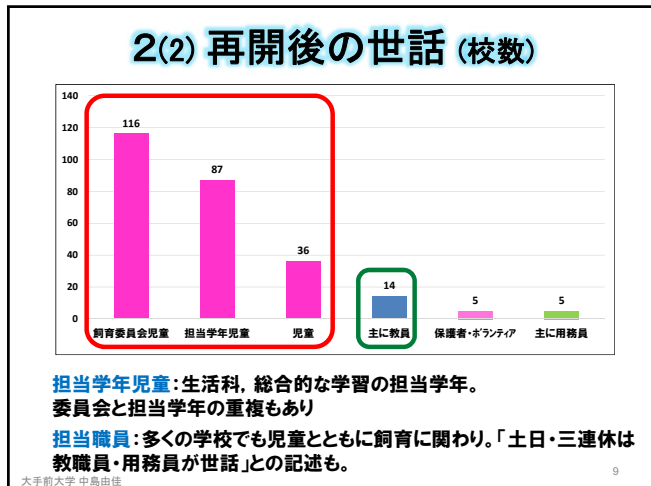
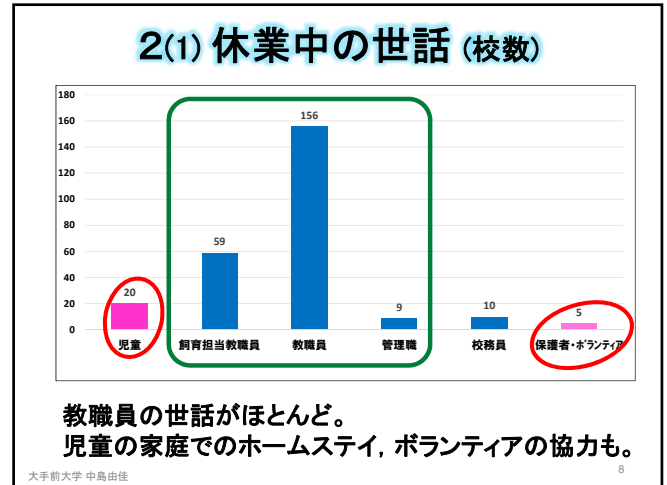
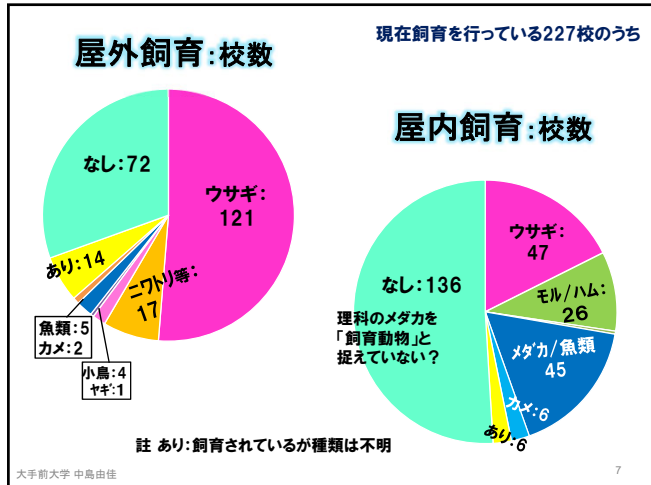
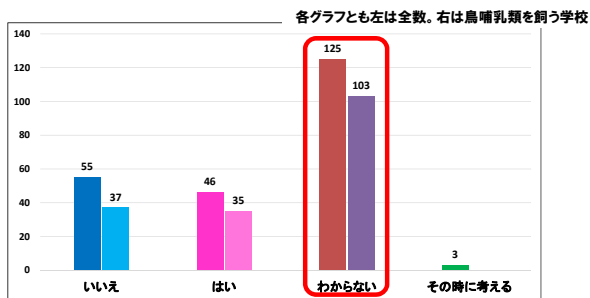




4. 現在飼っている動物がなくなったら 購入などして継続するか？ (校数)

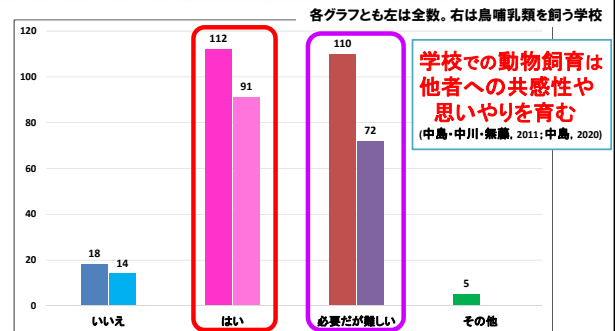


- ・ウサギからモルモット／他の生き物に替える。
- ・購入 予定あり。

大手前大学 中島由佳

13

5. 子どもに学校動物飼育は必要か？ (校数)



学校での動物飼育は
他者への共感性や
思いやりを育む
(中島・中川・無藤, 2011; 中島, 2020)

- ・必要だとは思うが、一部の児童しか関わっていない。
- ・一長一短。
- ・動物の健康を維持する十分な体制がなければ、飼育しない方がよい。

大手前大学 中島由佳

14

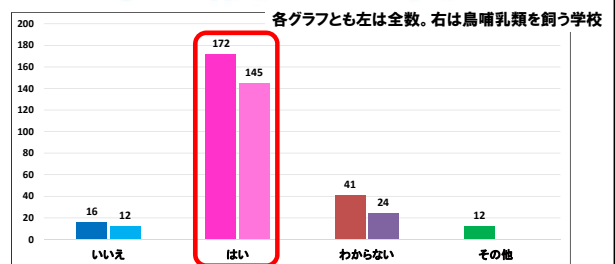
必要だ、重要だとは思うが、
実際に飼い続けるには負担が大きい。

なにか手立ては？

大手前大学 中島由佳

15

6. 長期休業中に獣医師が預かる仕組みが あれば利用したい？ (校数)



- ・予算がつけば／無償ならば利用したい。
- ・すべてではなく部分的に利用したい。
- ・ありがたいが動物の移動等の課題が生じるのでは？

一方で既に 現在も長期休業中は、獣医師が預かってきている。
保護者のボランティアをお願いしている。

大手前大学 中島由佳

16

考 察

これらから考えられること

大手前大学 中島由佳

17

① コロナ禍で あらぬ誤解を受けている！

「動物から児童にコロナ感染するのでは」との懸念

ていねいな説明の必要

飼われている動物(家庭や動物園)→人への感染
は報告されていない。
(他国の動物園で飼育員→ライオンやトラへの感染)



保護者への説明は、動物の定期検診や飼育指導
を行っている学校獣医師さん＝専門家が説明する
ことで、安心を確保。

大手前大学 中島由佳

18

② 教職員だけでは、もう「しんどい」

長期休業中の世話、教員への飼育の負担

長期休業中の世話(明治の動物飼育開始時より)



近年の業務の煩雑化・増加

・安心安全への気配り, アレルギー等への配慮



コロナ禍による, さらなる業務・ストレスの増加

・感染を避けるための対応・配慮

・オンライン授業, 国・自治体の方針への対応

「教職員だけの世話は、もう限界では」との声
(学校からも地域からも)

大手前大学 中島由佳

19

コロナ以降の学校動物飼育

ではどうすれば

学校だけに抱え込まないー地域学校共同活動

例えば… 地域の保護者の有志が休日の動物の世話
クラスの家庭でのホームステイ

3連休以上の長期休業中に地域の獣医師さんに預かってもらう仕組み

学校での動物飼育は他者への共感性や
思いやりを育む (中島・中川・無藤, 2011; 中島, 2020)

動物にとって幸せな飼育環境

教員の負担軽減

動物飼育で優しい子に

の3つの共存を

大手前大学 中島由佳

20

地域と学校との協力で
学校動物飼育を支えていきましょう。

ご清聴、ありがとうございました。

大手前大学 中島由佳

21